



## ●郡医師会役員会●

(平成2年度第1回)

▼日時：平成元年4月12日(木)午後6:30  
 場所：ホテル東日本  
 出席者：高橋(牧)、高橋(孝)、佐藤(郁)、  
 上田、西島、瓜田、坂井、及川、上原、和田、八角、  
 篠村、嶋、高橋(司)、根本、佐々木

### 《議題》

- (1) 役員の業務分担について
- (2) 医師会費について
- (3) 岩手郡医師会定款について
- (4) 入・退会について
- (5) 平成2年度県民健康講座について
- (6) 平成3年度岩手県医師会野球大会
- (7) その他

- 1) 岩手郡医師会業務分担 ○印は主任
- 医事紛争委員 ○高橋(牧) 八角
  - 保険問題協議会 ○高橋(牧) 高橋(孝)
  - 広報委員 ○嶋 佐渡 上原
  - 健康教育委員会 ○八角 西島
  - 学校医部会 ○高橋(孝) 瓜田
  - 勤務医部会 ○佐藤(郁) 高橋(司)
  - 産業保険部会 ○西島 根本
  - 労災部会 ○及川 篠村
  - 生涯教育委員会 ○上田 坂井
  - 厚生・福祉部会 ○坂井 上田
  - 地域医療部会 ○及川 佐々木
  - 学校保健会(会長 高橋(牧)) 佐藤(郁)  
 西島 佐々木 八角  
 瓜田 及川 高橋(孝)  
 上原 篠村

- スポーツ医学委員 西島 根本 上原
- 医師国保組合会議員 和田(栄)
- 医師信用組合役員 秋浜
- 岩手医学会評議員 上田
- 県医師会裁定委員 近藤
- 県医師会代議員 西島 根本
- 予備代議員 佐々木 杉本
- 県医師会理事 高橋(牧)

### 2) 医師会費について

- A会員：郡医師会費 95,000円
- B会員：郡医師会費 35,000円

(分割内訳)

日医	県医	郡医	計
一期	8,000円	15,000円	12,000円 35,000円

二期 7,000円 15,000円 12,000円 34,000円  
 三期 7,000円 15,000円 11,000円 33,000円  
 合計 22,000円 45,000円 35,000円 102,000円  
 ○C会員：…該当なし

※5月31日まで納入のこと。

### 3) 岩手郡医師会定款について

昭和22年に「社団法人岩手郡医師会定款」として登記手続きして以来、会長が数回に亘って交代した。そのため手続きの不備が指摘され、このたび改めて申請手続きを行なうことになったものである。

### 4) 入・退会について

#### ◇退会

- 熊谷利信先生 3月31日 安代診療所より 県立山田病院へ
- 田中佳博先生 3月31日 岩手町工藤医院より
- 遠藤哲夫先生 3月31日 西根病院より
- 伊藤俊一先生 3月31日 八角病院より
- 加藤良平先生 3月31日 八角病院より
- 小原準之輔先生 5月31日 滝沢中央病院より
- 高橋司先生 5月31日 県立沼宮内病院より
- 小川将先生 5月31日 県立沼宮内病院より

#### ◇入会

- 栃内秀士先生 滝沢村栃内病院第二病院へ
- 吉田徹先生 県立山田病院より安代診療所へ

5) 平成2年度県民健康講座開催地について  
 今年度は滝沢村での開催予定であり、平成3年1月～2月に、3～4回のカリキュラムを考えている。

### 6) 平成3年度岩手県医師会野球大会の担当について

当医師会が担当となり、平成3年8月25日(日) 聖石町内の小・中・高校グラウンド及び町営球場にて開催の予定である。

### 7) その他

昨年7月に開催したボーリング大会と同じような家族・従業員リレーションとして、本年は昨年できなかった「山登り」(網張温泉より裏岩手への山登り、下山後焼き肉パーティを考えている。)7月29日(日)の予定。

健康教育委員会より

## 県民健康講座西根町会場アンケート報告

平成元年度の県民健康講座は西根町を会場として、平成2年1月24日(木)より毎週水曜日に西根町町民センターで開催され、2月14日(木)閉講となりました。講師は西根町内の医師、歯科医師が中心となり講義が開始された。

今回の参加申込みは西根町内及び松尾村の住民約107名となっており、初日の1月24日には岩手保健所長の牟岐梧楼先生を初め、郡医師会長高橋牧之介先生、西根町長工藤勝治さんの開講の御言葉をいただき、最高令者は80才の男性で、若年令層の方(27才♀)も健康に感心をもって熱心に受講され、4回のうち3回以上出席の方には最終日に終了証書が交付された。(都合73名に授与された。)

今回の県民健康講座西根町会場で、最終日に行なったアンケートについてまとめてみました。

受講者 107名 (男4名、女103名)

終了者 73名 (平均年令 51.1才)

アンケート提出者 64名

問1 性別 男2名、女62名

問2 あなたの年齢は何歳ですか。

男69才 女51.3才(平均)

問3 あなたの職業は何ですか。

主婦47%農林業39%

問4 あなたは、過去5年間に入院したり、長い間、医師にかかったことがありますか。

入院したことのある人34%。疾病別では循環器系、消化器疾患、呼吸器疾患となっている。

問5 自分や家族の健康について、常に注意していますか。

健康に注意している人89%。健康なので特に注意していない人11%

問6 健康についての相談を主に誰にしますか。

第1位家族 41% 第2位医師 34% 第3位友人 13%

問7 あなたの地域に保健衛生組織(例:市町村の保健推進員や食生活改善推進員等)があることを知っていますか。

保健衛生組織のあることを知っている人90%。知らない人10%。

問8 新聞や市(町村)広報などで、健康についての記事を読みますか。

健康関連記事を読む98%。

問9 各種の集団検診を受けていますか。

できるだけ受けている81% 時々受けている13% 受けたことがない6%。

問10 今後の集団検診について

受けたことのない6%の人が今後は受診すると回答している。

問11 この講座が開かれることを何で知りましたか。

町村広報81%その他保健婦、保健推進員16%。

問12 募集方法について、どう思いますか。

今のままでよい42% もっとPR56%。

問13 開催時期はいつごろが適当と思いますか。

1~3月89%。

問14 期間(開催日数)は、どのくらいが適当と思いますか。

5~6回89%。

問15 講座の時間帯についてはどのくらいが適当と思いますか。

午後希望92%。

問16 1教科の時間についてはどのくらいが適当と思いますか。

45分 36%。1時間 31%。1時間30分 11%

%. 2時間21%。

問17 会場又は設備についてはどう思いますか。

大変良かった 63%. 会場が寒い 22%.  
声が聞えない 8%。

問18 テキストの使用についてはどうですか。

詳しいテキストがほしい 53%. 要旨程度のテキスト 47% 不要 0%。

問19 スライドの使用についてはどうですか。

スライドの使用が講義の理解に役立つ5%。

問20 この講義についての感想はどうですか。

96%の人がよく理解できた。或いはまあまあ理解できた。

問21 受講して得た知識が、日常生活に役立つと思えますか。

殆どが役立つと回答している。

問22 受講して得た知識を、地域において役立たせたいと思えますか。

積極的に役立たせたい及び機会があれば役立たせたいが85%。

問23 今後、特に加えた方がよいと思う教科。

心の健康、食生活改善、病気の予防の順で教科の追加希望が多い。特に回答した人の81%が「心の健康」を取り上げるよう希望している。

問24 この種の健康講座（講話）についての今後の出席希望はどうですか。

72%が今後も出席を希望し、内容によって出席したいが27%にみられた。

問25 この講座の終了者の組織化についてはどうですか。

64% は組織化を考えていない。

御意見・御希望

・町内のお医者さん方のお話をまじかにお聞きできたこと。みなそれぞれの面で健康について考えて下さることを感謝したいと思いました。

・健康講座を担当して下さった職員のかたが

た本当にありがとうございました。今後ともよろしく願います。

・毎年行ってほしいと思います。集合するのにバス停留所が寒いので2月なかば頃より開講されるよう希望します（日が長くなってよいので）

・年寄りと一緒に住んでおりますので家庭看護の方面をもう少し多く習いたいと思います。初めての受講でしたがこれからも是非参加したいと思います。ありがとうございました。

・アンケートの中にも入っておりますが時間が短いと思います。せっかく集まってきているのに帰りがすぐに感じた。

・スライドでやるのがとてもきき易いからどの科目もスライドで作ってもらえればいい。

・もっとこのような機会を作ってほしいと思います。・歯科の先生の講義のような内容をもっと時間をかけてお聞きしたいと思いました。

・すごく感心しました。4回にわたって本当にありがとうございました。

・専門的講義をこれだけの人数で、シリーズを受けた意義は大変大きいと思います。これで打ち切りとにならないように。

・もっと時間をかけて話してほしかった。

・時間がよく守られているので大変よかったと思います。また機会がありましたら参加させていただきます。

・ためになるお話ありがとうございました。ただ西根には眼科や耳鼻科がないので残念です。医師会の方々となんとかならないものでしょうか。

・ホームドクターの制度を考えてもよい時期ではないでしょうか。

・どんなお話をきけるのかなと思って毎回出席したのですが案外期待はずれの感がありました。

## 葛巻医会だより

葛巻町 西 島 康 之

岩手県県民健康講座が、葛巻町において昭和58年、昭和61年の2回開催されています。県民健康講座が、町民に非常に受けがよく、町民から「毎年葛巻町だけの健康講座を開いていただきたい」という希望がありました。そこで、町保健センターと町内の医師、歯科医師を中心に昭和60年度より毎年一回開催しています。平成元年度は、3月に葛巻町星野部落で、受講者60名が参加して開催されました。主テーマは、疾病予防を中心に話すことにしました。演題は、以下のとおりです。

- 1 成人病予防について (近藤純造先生)
- 2 気持ちと健康 (早藤一雄先生)
- 3 脳卒中の予防について (佐藤郁郎先生)
- 4 イ) 実年を襲う突然死について  
ロ) 農耕スケジュールに添った日本のご  
節句と健康管理 (西島康之先生)

- 5 急性腹症とその注意点 (高橋克郎先生)
- 6 子供の事故(予防)について (岡田信親先生)
- 7 虫歯予防について (遠藤憲正先生)
- 8 歯のみがき方について (高橋欣也先生)
- 9 薬の歴史と医薬品の正しい使い方 (四倉幹三先生)

以上の演題が話されました、各先生とも受講者とのディスカッションの時間を十分に取和やかなうちに盛会裡に終了しました。

葛巻の健康講座は、部落民と密着した勉強会であり広義の意味のInformed Consent(説明と同意)にもなるものであり、有意義なものと思っています。

## 岩手町医師団の活動報告

岩手町 塚 谷 栄 紀

活動の中心は、6年来続いております『レントゲンカンファランス』です。毎月、第3木曜日、町内の医師が県立沼宮内病院に集まり、連絡事項はもとより、毎回、実地医療に関連した諸種の問題を提起しあって検討、勉強しております。会員の皆さんの人柄のせい、肩の凝らない、気楽な会となっております。そのため、殆どどの先生が、余程の事情がない限り、全員出席します。同会は、先輩諸先生の努力により6年間に渡って途絶えることなく続いております。又、今年からは、それぞれの施設で撮った胸部レントゲン、そのほかの

レントゲンを持ちより、多数の目でレントゲン診断をし、この会に提出されたものには、岩手町医師団のシールを作成し、貼付しております。

最近の内容は次のようなものです。

- \* 糖尿病外来での診察と治療。
- \* 寝たきり老人への医療施設の対応と町の行政の関係。
- \* HBcについて。
- \* 健康診断書の報酬請求と検査内容。
- \* エジプト産婦人科事情とアラブ的思考法。
- \* カナダの老人施設、及び耐寒住宅。

等々多方面に及んでおります。

さて、先日県立沼宮内病院院長高橋 司先生の転勤、並びに外科医長小川 将先生の退職が決まり5月17日送別会を行ないました。高橋先生は県立山田病院の院長として御栄転、小川先生は故郷の北上市で御開業となりました。高橋先生は、赴任以来県立病院を開かれた医療施設として、地域医療に根差すことに大変な努力をされ、医師団一同大変感謝しております。

また、小川先生におかれましては、昼夜を問わず、地域医療の要の先生として大変お世話

になりました。気軽にお願ひ出来る人柄でしたので、大変残念に思っております。今後の故郷での御活躍を期待します。

送別会の席上、高橋院長は、”沼宮内に骨を埋める積もりだったのに”と述べていたのが印象的でした。両先生の、新転地での今までと変らぬ医療活動を医師団一同お祈りします。

送別会の席でも出たことですが、”岩手町の患者さんはなるべく町内で診察を”を目標に、今後とも一層の医師団の和の充実に努力していく意気込みで一同頑張っております。

岩手町医師団の近況より

## 雫石医療団活動報告

雫石町 上原 充 郎

今回は雫石町内の医師と歯科医師との集まりである雫石医療団について御紹介申し上げます。雫石町は旧雫石地区を中心に、南部に御所地区（根本先生）、西部に御明神地区（宮杜先生）、北部に西山地区（宮沢先生）の四地区に別れている。そして雫石地区には町立雫石病院に杉本先生と桂先生、医院として高橋 孝先生、篠村（達）先生、篠村（五）先生、谷藤先生、長谷川先生、そして小生がおり、医師会員は合計11人です。

これに7人の歯科医師をくわえ雫石医療団として、活動している。（最近医療団の団が消防団とか暴力団の団の様でうまくないという意見がでているが、適当な名前がまだみつかっていません）

会員各自は医療活動はもとより、町医療行政に対し本当にチームワークよく積極的に協力していると会員の一人として自負している。

チームワークのよさは本当にすばらしいものです。たとえば、町当局との保健活動についての打ち合わせや、毎月2回の勉強会等に欠席する会員はほとんどおりません。

郡医師会の会合にも、ほとんど全員出席です。都合悪く欠席するときは、必ず事前に電話等で欠席理由を連絡しています。昨年度より集団予防接種は医師三人制をとり一人は予診、一人は診察をして接種の適否を決定し、のこの一人が接種することにより接種事故防止につとめているが、この様なときでも予定時刻におくれるときなどまずない。もちろん患者さんについてもお互に良く連絡をとりあい、密度の濃い医療を目指している。各医師は全員それぞれ八カ所の保育園医（園児350人）、一幼稚園医（園児190人）、十カ所の小学校医（学童1500人）、一中学校医（生徒800人）を受け持ち保健活動に協力している。さらに老人保健事業への積極的協力は勿論のこと、部落ごとの医療懇談会にも会員で分担しあって協力している。

医療団は博愛会という納税組合を結成し、その還付金を医療団の色々な活動資金に利用しているのは他に類をみないことだと思います。勿論これだけの資金では足りないのだが…。色々な会合費、寄付金、新聞等への宣伝費

に充当している。町内のお祭りや花火大会への寄付等も医療団として、この還付金で行なう様にしている。この様な集団的行為はチームワークをみださない為にも大切なことのように思われる。

医療団の会合は全員が平等に発言できる雰囲気、よく会員で話し合ったうえで、合意点を見つけだす様にしている。だから決定し

たことは、全員で責任をもって実行している状態です。町当局との医療活動についての折衝も医療団で十分に意見を出し合ったあとに行なうのが現状です。

言葉足らずの紹介になりましたが、いずれ医療団が一丸となって町民と共に健康な町づくりに邁進している毎日です。 完

### 行事予定

〔県医師会関係〕

・第42回岩手県医師会総会及び第84回岩手医学会（春季）総会（担当 遠野<sup>市</sup>医師会）

日時：平成2年6月24日（日）午前8時30分～

会場：遠野市民センター

・第20回県医師会親睦海釣り大会

（担当 宮古<sup>市</sup>医師会）

日時：平成2年6月30日（土）（前夜祭）～

7月1日（日）午前4時30分集合

場所：釜石市唐丹湾小白浜、三陸トラックステーション

・第7回県医師会親睦野球大会

（担当 久慈<sup>市</sup>医師会）

日時：平成2年8月26日（日）

場所：久慈市宮球場他8会場

・第7回県医師会庭球大会

日時：平成2年8月19日（日）

場所：盛岡市綱取ダム テニスコート

・第24回県医師会親睦ゴルフ大会

（担当 一関<sup>市</sup>医師会）

日時：平成2年9月24日（月）振替休日

場所：南岩手カントリークラブ

〔郡医師会関係〕

・従業員・家族親睦岩手山登山

日時：平成2年7月29日（日）

場所：雫石町綱張スキー場よりリフト使用

### 「学術講演会」

主催：三共株式会社

後援：岩手郡医師会

記

日時：平成2年3月31日（土）PM4：00より

場所：ホテル東日本

製品紹介：「高脂血症治療剤 メバロチン」

〈座長〉 岩手郡医師会

会長 高橋牧之介先生

特別講演：「高脂血症診療の現状」

弘前大学医学部第三内科

助教授 小沼富男先生

動脈硬化から起る危険因子、関連疾患の解説及び

- 1) 一次性高脂血症となりうる要因
  - 2) 二次性高脂血症の原因となりうる疾患
  - 3) 高脂血症の誘発し易い薬剤
- など食事療法を含めてくわしく解説していただいた。

実地医家にもわかり易い講演であった。

## あらほの先生

### 西根町 嶋 医院の巻

緑の眩しい季節となりました。

当院テニスコートでは、軽快にラリーを続ける先生の姿が見うけられます。スポーツは何でもこい！の先生は、冬はスキー、他のスリーシーズンは準備運動のテニスと、「命あずけます」ゴルフに興じています。

万能選手の先生は教え上手でもありまして、みんなでスポーツをする時など、すぐさまインストラクターに早替りし、ポイントの高い指導を行なってくれます。これはスポーツ時に限らず、一般的に先生は説明上手であります。（先生は知識の蓄えもすごく、別名「生き字引」とも呼ばれるくらい情報たるもの、すごいものなのです。あらゆる分野に精通していて、なんと芸能ニュースにも詳しくたりするので。）

説明上手の代表例は講演です。みんなが知りたい婦人科の事を、かみ砕いて、分かりやすく伝えてくれるそうです。私達へも優しく、丁寧に、色々な事柄を説明して下さいます。先生のお話は分かりやすく、すんなりと耳に入ってくるのです。

先生には、ステキな日課があります。

それは、お誕生日カードを書く事です。

当院で生まれたお子さん宛に、1年に1度、メッセージを添えて送ります。開業して早や、12年。当院で生まれた赤ちゃんも、かなりの人数になりますが、1枚、1枚、愛情を込めて先生のペンは走ります。先生のお友達（高校の同級生のイラストレーター）のイラスト入り、ほのぼのとした温かさが感じられる、夢いっぱいポストカードです。（参考までにこれは昭和58年3月より続いています。ポストカードは6種類にもなりました。）…

時々、先生のもとへかわいい手紙が届きます。覚えてたの字で、一生懸命書いた手紙で、ときにはクレヨンとか色鉛筆で、絵をかいて、誕生日カードのお礼が綴ってあります。私達にも見せてくれます。

先生も子供は大好きなようですが、子供達にもとても好かれているのです。自ら診察室のイスに坐って先生に話しかける子、先生の回りをウロウロする子、玩具を持ってきて説明を始める子…etc. そんな時先生は、目を



職員に囲まれて…





細めながら穏やかな口調で子供達の声に耳を傾けます。時々子供達と一緒に玩具遊びをする事もあるんですよ！

先生は昭和15年12月30日生まれ。今年で50歳になります。「開業当時から変わらないわ。」と言う、患者さんのうれしい言葉どうり、先生は年より若く見えると思います。それに、キグリー女史の大占星術（レーガン大統領も占ってもらっていた？）によると、先生の生まれた日はとても星回りがよく、幸運続き

の人生という結果です。占っていた私達が「こんなにもいい星があつていいものだろうか？」と、絶句してしまつたくらいです。

多忙な毎日、うるさい従業員に悩まされる日々、ストレスも沢山たまってしまつてしまいますが、くれぐれも体に気をつけ、私達の声援を背にうけ、これからもがんばっていただきたいと思ひます。

実は…この広報の担当は先生なのです。この原稿がボツにならないことを祈りながら、このへんで失礼したいと思ひます。

### 新入会員紹介

氏名： 栃内秀士先生（栃内病院第二病院）

年齢： 満39才（昭和25年7月27日生）

出身地： 盛岡市

出身校： 岩手医科大学

診療科目： 脳神経外科

勤務の時期： 平成元年12月1日

〔勤務先〕 社団医療法人 栃内病院第二病院

☎020-01 ☎ 0196 (84) 1 1 1 1

岩手郡滝沢村大釜字吉水103-1

〔役職〕 副院長

趣味： スキー・テニス・碁・将棋

ひとこと： 今後は、頭部外傷・脳卒中後遺症の患者さんに対し、「リハビリテーション」という立場より携わって行きたいと思ひます。

又、脳神経外科及び救急センター在職の経験を生かし、可能な限り急性期の患者さんにも係わっていきたく思ひます。

今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

氏名： 吉田 徹先生（安代診療所）

年齢： 30才

出身地： 盛岡市

出身校： 自治医科大学

診療科目： 外科

経歴：

S56.6～S62.5 県立宮古病院外科

S62.6～H2.3 県立山田病院外科

H2.4～ 安代診療所

趣味： テニス・スキー・ゴルフ・ピアノ・囲碁（全て下手ですが…）

ひとこと： 初めての診療所勤務で、試行錯誤の状態ですが、精一杯頑張るつもりです。

御迷惑をおかけすると思ひますが、よろしくお願ひ致します。

## 編集後記

- 新緑の鮮やかな季節となりました。今年の桜前線は、例年より早く、4月上旬～中旬にかけて一気に咲き乱れ、週末は春雨に見舞われて、花見酒のグループも何か盛り上がりには欠けるものとなりましたが、それぞれの花見気分はいかがだったでしょうか。
- 表紙写真はその季節、時季のものと考え、いろいろと思考の結果、今回は開館20周年を迎えているいろいろのイベントも施行された、玉山村波民にある「石川啄木記念館」をとり上げてみました。ここの提示板の案内図及び解説をみても、英文の解釈が入っており、国際的な記念館としての存在がうかがわれる。これからの夏休み或いは休日には多くの啄木愛好家、家族づれや学生で賑わうことでしょう。近くにある啄木詩碑周辺も、北上川にかかる鶴飼橋は昭和59年、当時のイメージを活かして現代的な吊橋として架け替えられた。

近所でいつでも行けると思わないで、気

の向いたときドライブを兼ねて訪れて見てはいかがでしょう。

- 滝沢村で開業の矢追博美先生は、ついに趣味のコレクションの南部鉄器を一堂に集めた「南部古砂鉄瓶館」をこの4月盛岡市南通りにオープンした。20年にわたり集めたコレクションを系統だてて研究し、日本人の生活そのものにかかわる鉄の歴史をまとめたいと語っており、同館は毎週木曜日と年末年始を除く、午前9時から午後7時半まで開館。入場料は一般300円、70才以上のお年寄りと高校生、大学生200円、小・中学生100円、となっている。
- 2月の郡医師会総会において各支部分担広報担当員として上原、佐渡両先生が指名され、これからも新機軸の企画がみられるかもしれません。乞御期待！

また、2期目に入る高橋会長のもと、役員一同それぞれの分野で個性を発揮して頑張ってもらいたいと思います。(M. S記)

